

活動テーマ

自分を大切に 人を大切に
ものを大切に 自然を大切に

甲賀市立油日小学校

環境グループを支える委員会

環境グループ

名称	油日小学校
構成人数	225人



名称	エコ支援委員会
構成人数	33人
主な構成メンバー	エコ委員会(児童会)、PTA、教育後援会会長、水口子ども森学芸員、学校田管理者

エコ・スクールの活動に重要な3つの視点の取組

子どもたちの主体的な取組

全校児童がビオトープを大切に、ビオトープの中の生き物や植物ともっと仲良くなれるようにと、児童会のエコ委員会がカブトムシ小屋を復活させ、「ビートル新聞」を月2回発行して、成長の様子を知らせた。

今後の活動へのつながり

全校的な取組として立ち上げた「環境フェスティバル」は、親子が自然と触れ合う有意義な半日になったが、親の参加体制や時間や内容に改善を加えて次年度の活動につなげたい。ビオトープのザリガニ対策が必須課題である。

地域との関わりについて

PTAによるビオトープの除草作業、環境フェスティバルのスタッフとしての協力、通学路美化活動や水環境水質検査への協力等。田んぼの学習における近隣土地所有者の協力。林業体験における油日森林組合の人たちの協力等。

主な活動内容紹介

エコ宣言を皮切りにして、低学年はビオトープ周辺の草花や生き物調べを、3年は薬草調べを、4年は木に関する学習を、5年生は学校田での米作り体験や水に関する学習を、6年生はビオトープの小さな生き物調査と3Rの取組を中心に各々取り組んだ。

また、エコ・スクール活動の中心組織として、エコ委員会が全校をリードした。6月には「通学美化活動」を企画し、活動の始めに「必殺！ゴミ仕分け人」をして、きれいな町作りとゴミ分別について呼びかけた。

春には「全校草引き大会」、夏場はザリガニ駆除、秋には「自然と遊ぼう会」を企画した。今年一番の大きな取組として「環境フェスティバル」を立ち上げた。

劇でリサイクルゴミについて知ってくれてよかった。



子どもたちの声や感想など

みんなが通学路をきれいにしてくれてよかった。



ザリガニ退治でザリガニが減ってよかった。



見回り活動でが多く、みんなが取り組んでくれていることが分かった。



自然と遊ぼう会で全校の人が楽しんでくれた。

「ビートル新聞」をみんながみてくれて良かった。